**プレスリリース**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**福　島　市**

[ ] 事前告知のお願い　[ ] 当日の取材のお願い

[x] その他

平成３１年３月２０日

**麻しん（はしか）患者の発生について**

　３月１８日に福島市内の医療機関より麻しん患者の届出（臨床診断）があり、福島県衛生研究所で検査を実施したところ、３月１９日に麻しん陽性と確定しました。患者は、入院中で快方に向かっています。

　福島市保健所では、患者の行動や接触者について、調査、対応をしております。

　麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。また、受診の際は、周囲の方への感染を広げないよう、マスクを正しく装着し、公共交通機関等の利用を避けてください。

　麻しんの感染を防ぐ最も有効な方法は、予防接種です。特に海外渡航をする場合には、渡航先の流行状況を確認し、予防接種をしていない場合には予防接種をお勧めします。

記

概　　要：県北保健所管内在住　４０歳代　男性　麻しんの予防接種歴なし。

経　　過：3月 6日　フィリピンから帰国。

3月11日　発熱。

3月12日　市内医療機関受診。

3月14日　４０℃台の発熱が続き、市内同医療機関を再受診。

3月15日　市内の総合病院に入院。

3月16日　腹部～背中に発疹。

3月18日　全身に発疹が広がる。臨床診断での発生届となる。

3月19日　遺伝子検査の結果、陽性にて麻しん確定となる。

**＊なお、帰国後の患者の移動はすべて自家用車を利用しており、公共交通機関の利用はありません。**

**患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いいたします。**

担当：健康推進課　感染症対対策係

　　　課長　加藤、係長　松田

　　　電話024-572-3152（直通）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　裏面へ→

**麻しんについて**

麻しんウイルスによって発症する感染症で、非常に感染力が強く、飛沫感染、接触感染などにより感染します。

　(1) 原　　因　　麻しんウイルス

　(2) 症　　状　　発熱、発疹、咳、鼻水、結膜充血等がみられます。

　(3) 症状の期間　２日～４日程度発熱が続き、その後発疹が３～４日続きます。

　(4) 潜伏期間　　１０日～１２日（最大２１日）

　　　　　　　　　麻しん発病例の周囲への感染可能期間は、発病日の1日前から解熱後３日間を経過するまでの期間。

　(5) 治　　療　　特異的な治療法はなく、対処療法がおこなわれます。

　(6) 感染経路　　空気感染、飛沫感染（咳やくしゃみのしぶき）、接触感染

　(7) 予防方法　　ワクチン接種

【麻しんと疑われる場合は】

　　麻しんは感染力が強いことから、発熱、発疹等の症状から麻しんが疑われる場合、必ず事前に医療機関へ連絡し、医療機関の指示に従って受診しましょう。

　　受診の際は、周囲の方へ感染させないよう、マスクを着用し、公共交通機関の利用は避けてください。

【予防接種の履歴を確認しましよう】

　　予防接種１回で９５％、２回で９９％以上の免疫が得られます。

既に麻しんに罹っていて、免疫がある方もいます。

　(1) 昭和５２年以前生まれ

　　　　定期予防接種未実施。

　(2) 昭和５３年～平成２年４月１日以前生まれ

　　　　定期予防接種１回実施

　(3) 平成２年４月２日以降生まれ

　　　　定期予防接種２回実施

【定期予防接種を受けましょう】

　　麻しんの感染を防ぐ最も有効な方法は、ワクチンの予防接種です。

　　麻しんの定期予防接種（第１期：１歳児、第２期：小学校就学前の１年間）を受けていないお子さんは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

【参考】

麻しん患者発生状況（平成３１月３月１９日現在）単位：人

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２７年 | 平成２８年 | 平成２９年 | 平成３０年 | 平成３１年 |
| 福 島 市 | ０ | ０ | ０ | ０ | １ |
| 福 島 県 | ０ | ０ | ０ | １０ | ０ |
| 全　　国 | ３５ | １６５ | １８９ | １６７ | ２８５ |